

東広島市立原保育所

地域の方と一緒に取り組んだ畑づくりで こどもたちの自然への関心が広がりました

保育環境づくりのポイント

園庭が狭く、給食センターのトラックが入ってくると遊びが中断されたり、出入りのスペースが必要なので、園庭に色々なものを作れない。そのため園舎裏のスペースを使って、畑や花壇を作り自然に触れる環境を作ろうと計画した。

～こどもたちのこの力を育みたい～

- ☑感じる・気付く力
- ☑うごく力
- ☑考える力
- ☑やりぬく力
- ☑人とかかわる力

取組み内容

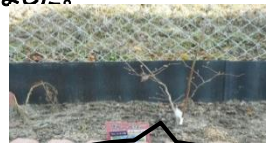


こんなスペースの空き地でした。



花壇や樹を植えて、子ども達の広場になりました。

牛糞や石灰・元肥などで畑作りをしました。子ども達は草取りをたくさんしてくれました。11月に玉ねぎの苗を植えたり、そら豆の種をまきました。



ブルーベリー



★ドングリや木の枝・様々な大きさの石が子ども達の創造遊びの宝物です。



アオキ
むらさききぶ



異年齢児との遊びが多くなりました。



＜今回の取組みを通して＞
職員と子ども達が一緒に取り組むことで、自然環境に興味関心を持ち、自然物を使った遊びが広がりました。
所長 大武 典子